

千葉県商工労働部と千葉県中小企業団体中央会との意見情報交換会

本会は9月9日、千葉市内において、「千葉県商工労働部と千葉県中小企業団体中央会との意見情報交換会」を開催した。

同交換会は、各業界の現状や要望等について、互恵的な相互理解を深めるのが目的。県当局と中央会の連携が一層強化され、適時適切な支援体制の構築が図られるよう開催されている。



△挨拶をする平会長

今回は、貿易、小売業の2業界から情勢報告があった。この他にも、中小企業の現状とその課題等について報告があり、行政等への

支援要請等に関する意見が述べられた。



△挨拶をする床並商工労働部長

続いて、県当局への要望について、中小企業連携組織対策事業補助金の増額について説明を行った。

次に、千葉県の施策についての説明が、経済政策課、経営支援課、企業立地課、雇用労働課からあった。

結びに、県当局及び中央会による意見情報交換が行われ、中小企業の振興に関連した施策の方向性や目標等について活発な討議が交わされた。双方ともが意欲的で和やかな雰囲気を出し、中小企業の活性化に向けた今後の展開を期待して行きたい。

平成28年度産学連携交流会を開催しました

9月21日、千葉県中小企業団体中央会と千葉県異業種交流融合化協議会共催の平成28年度産学連携



△挨拶をする千葉県異業種交流融合化協議会長野会長

交流会が木更津工業高等専門学校において開催された。

まず、木更津高専の地域共同テクノセンター長丸岡邦明氏によって、木更津高専の説明と、地域共同テクノセンターの取り組み等の説明がなされた。

続いて、木更津高専の3名の研究者による研究紹介が行なわれた。最初に、情報工学科助教のサプロタ・アチュタ氏によって、「体

外循環流路における血液凝固の可視化」と題し発表があった。



△産学連携交流会の様子

次に、情報工学科講師の古澤陽介氏によって、「慣用色名の認識・有効度の定量化検証とその応用」と題し、発表が行なわれた。

最後に、同学科の助教の岩田大志氏によって、「コンピュータハードウェアの設計とテスト」と題し発表があった。

その後、木更津高専の実習室等の見学が行なわれた。質疑応答や交流を行なうなど、今後の経営に大きく活かせる会となった。